



はたらく女性のフロアかながわ (WWFK)

〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町8-25-203 本間重子気付

電話/FAX 045(323)0653 E-mail wwfk@hotmail.co.jp

HP <http://www3.plala.or.jp/wwt/wwfk.html>

学習会報告

憲法96条「改正」のねらい

7月26日(金)弁護士の坂本修氏をお招きして、学習会を開催しました。21日の参議院議員選挙では自民・公明の与党が過半数を獲得しました。憲法改悪の危機が迫っています。

坂本氏は中学1年生で敗戦を迎え現在81歳。1月にパートナーの坂本福子さんを亡くされました。坂本福子さんは弁護士として常に労働者の側に立ち、特に男女格差是正のために多くの裁判を闘ってこられました。福子さんを失い、「弁護士として復帰出来ないのでは」と周囲を心配させたが、「憲法を守る」思いで復帰されたそうです。

以下にお話の内容を報告します。

自民党は立党以来憲法を変えることを念頭に置いてきたが、今までは保守党としてのバランス感覚があった。安倍内閣は違う。自民党自体が変わってきている。右翼政党になっている。維新の会など超右翼とも手を組む。改憲を軸にどの党でも手を組み、憲法の全てを変える政界改革をする。

☆参議院選挙後の改憲攻撃をどうみるか

96条改憲のねらいは何か。改憲発議に必要な定数3分の2を2分の1にして発議し易くする。目標は9条改憲だが、9条を変えることには国民の反対が多く(9条の会など)、公明党や民主党の中にも反対者がいる。手続きを切り離して改正するのなら、反対も少ないと考えたのだが、本音を国民は見抜いている。学者や政治家の中からも手続きを切り離すのは「おかしい」と反対意見が多く、「内堀を埋める・裏口入学」とマスコミもそのインチキ振りを報道している。96条が駄目なら、次の手は解釈改憲、立法改憲が加速する。これまで解釈上許されないとされてきた集団自衛権行使の容認、それを根拠づける法律の制定を行い、結果的に9条を変える。このような手段もとる。

☆「壊憲」の正体をどうみるか。

自民党の日本国憲法改正草案が昨年4月に決定している。どんな内容か。現憲法では主権者は国民だが、改正草案では天皇が元首で国民は天皇の

臣下となる。9条を変え戦争をする国にする。人間らしく生き、働けない国にする。自由と民主主義、基本的人権のない国にする。憲法の3原則と立憲主義が破壊され、これまでとはケタ違いの憲法になる。憲法とは言えない。

国防軍を作りアメリカと共に戦争する、国防軍は自衛隊とは全く違う。若者を出征させる、日の丸、君が代を尊重する、思想言論の取り締まり、政党結社を認めない、など最悪のシナリオ。では、私たちはこれに対して何もできないのだろうか。

☆勝利の展望をどこにみるか

先ず改憲策動そのものに弱点が含まれていることを確信する必要がある。既に述べたように裏口からの策動である。憲法は主権者である国民の意思で改正出来る。憲法は法律の改正のように議会の多数決で変えられるものではない。

私たちは今まで憲法を守り語り、着実に力をつけてきた。改憲の発議をさせない、国民投票で闘うことが出来る多数派になる。国民投票で負けると思えば改憲発議はしないし、国民投票で勝てば、本当に国民が主人公の日本、人間らしく平和な国に出来る。

☆《むすびにかえて》

今の状況は面白い。それは国民に反撃する力があるから。

「壊憲」は阻止する。阻止するだけでなく、憲法の生きる日本の実現のために声をあげ、足を踏み出す。明るい夢を見る—それを語り合い、実現する。それが可能な時代に私たちは生きている。

※坂本先生の憲法に関する著書が近々発刊予定です。ぜひ、お読みください。



WWFK第5回総会 行われる

坂本弁護士の講演の後にWWFK第5回総会を行い、会員15名が参加しました。

小島代表から「2012年度活動報告と2013年度活動方針(案)」が提案され、君嶋会計から「2012年度会計報告、2013年度予算(案)」が提案され、佐久間会計監査から「2012年度会計監査報告」がされました。

総会で参加者から出された意見は、次のとおりです。

- ・10月27日に川崎市長選挙がある。候補者になった。職安で働いていた。子育てするなら川崎でとあったが、阿部市長のもと、学童保育廃止、公立を壊し、民間へ。福祉を削り、子どものランドセルも削り、大企業にお金を使う。女性候補者として、市民が安心してくらせる川崎

- に、女性政策に知恵をもらいたい。
- ・今回の学習会、タイムリーだった。鎌倉にも戦跡があるので、めぐるのもよい。
- ・憲法の話、これから学習会をやっていく必要がある。坂本先生の本が出たら、普及する活動が必要。チューターになって。
- ・学習会など開催の日時は、昼間の方がよいのか。映画鑑賞もよいがレンタルだとお金がかかる。
- ・WWFK通信に原稿を気軽に寄せてください。
- ・学習会は、月初めがよい。土日だとババは孫の世話をしなければならない。
- ・『婦人白書』、家族がテーマにしたが、時宜を得ている。8月20日に発売される。
- ・今日の学習会、とてもよい企画だった。よく坂本先生が来てくださった。憲法の学習会はとても重要。女性・安保にひきつけて学習会をする必要がある。
 - ・・・・など、活発な意見交換が行われました。議案は参加者の拍手で承認されました。

今、フライブルクが素敵

会員 君嶋 千佳子

7月にドイツのフライブルクを訪れました。テーマは自然エネルギーとまちづくりです。

☆自然エネルギー視点がとても新鮮

温暖化、原発の危険性、エネルギー源枯渇等の問題に対応するポイントとして、①省エネ ②エネルギーの効率的利用 ③再生可能エネルギー利用、が示されました。

①の省エネですが、これは日本で考えるような禁欲的な省エネではなく、エネルギー消費の少ない仕組み作りを指します。徹底した断熱住宅、持続性の高い住宅、車に依存しないまちづくりなどです。車依存から抜け出す工夫の一つが公共交通機関の低廉化です。安いパスは家族全員が使えます。個人の努力にかかっているのではなく、省エネの街を作るという視点が合理的！

②の効率的利用という点では、発電時の熱を利用するコージェネレーションが徹底していました。太陽熱を電気にするときのエネルギーロスが75%とか。熱源として電気を使うのは最も非効率とされます。自然エネルギーを考える際に発電に偏重することなく熱の直接的利用が大切です。

③については電力会社任せでなく、地域の力と「再生可能エネルギー法」が大きな役割を果たしています。



外の熱を室内に入れないために大きく伸びた庇。屋根そのものが太陽光発電機です。

☆印象的だったまちづくり

「こんなことができるのか！」と感動したことの一つは、地元商店活性化のために、郊外の大型店で扱う品目に制限をかけていることです。日用品は地元商店でしか売れない条例が作られています。

また、乱開発を避けるため、土地は大手デベロッパーには売らないしくみを作っています。街中の土地は小さな区分で個人にしか売らないということでした。

人口22万人に対し市職員7000人の「大きな政府」です。でも財政は健全、住み易いので人口の流出はないそうです。人間を大事にする産業・交通・エネルギー・住宅などの政策が実施され、街は緑豊かで人々がゆったりと行き交っていました。

暑い夏のできごと

会員 白井 洸子

藤沢市では、住宅公団の中にある公立保育園が公団（UR都市機構）の再整備計画の整理事業に伴って、移転することになりました。そこに国がすすめようとしている「こども・子育て支援新制度」で、保育園建設への国からの補助金がなくなることになり、ちょうどよいチャンスとばかりに、藤沢市はこの保育園を公立から民営にすることにしました。

民営化にすれば、市は建設費を出さなくてすむことになります。民営化について保護者にアンケートを取ったら、75パーセントの保護者が、公立のままを望んでいます。市は7月の保護者への説明会で、予算がないから民営化にすると説明しました。

…公立保育園の建設費は4億円、民間（法人立保育園）の場合は国・県の補助金を活用するので市の負担は1億円ですむ…

この保育園には父母会がないのですが、心ある親たちが「とても民営化は認められない」と、短時間で600余筆の署名を集め、市長に要望書を出しました。

私たち、もと保育園の父母たち（今はババたち）は、「まったく油断も隙もあったものではない」、「こんなに待機児童が多いのに、公立を増やすというのなら話は分かるけど、公立保育園を民営化するのは絶対ゆるせない」、「これ以上保育事業を悪くすることなんて認められない」と話し合っていました。

今いる父母たちにぜひ頑張ってもらいたい、私たちババたちもバックアップするからと署名あつめの手伝いをしました。これからどうなるのかしっかり見守っていきます。



映画が好き②

会員 池田 資子



パリが舞台、「クロワッサンで朝食を」という題名を聞くと、優雅でお洒落な内容を想像する。しかし、原題は「パリのエストニア女性」。旧共産圏の国から家政婦としてやってきた女性アンヌが主人公。彼女は離婚し、働きながら娘を育て、母を看とり、空っぽの状態になっている。そこへパリに住むエストニア出身の老婦人を世話する仕事がある。憧れのパリ、フランス語を勉強していたアンヌは仕事を引き受ける。

高級アパートマンに暮らす老婦人フリーダを演

ずるのが85歳になるジャンヌ・モロー。公開初日からシニアのファンが長蛇の列を作り、衣装、アクセサリー、調度品などが自前ということも魅力的で人気を呼んでいる。

フリーダはこれまでの人生について余り語らないが、自己中心的で皮肉屋で故国にいい感情を持っていないようだ。アンヌに意地悪な態度をとる。先ず、クロワッサンでひと悶着。邦題はそこからつけたのだろう。気難しいフリーダの面倒を見ているのがアンヌの雇い主ステファン。カフェの経営を任せられ、フリーダの愛人・息子のような存在。彼女の我儘にやさしく対応している。

アンヌは辛く当たられても献身的にフリーダに尽くす。時々そっと家を抜け出して夜の街を散歩する。パリの風景がアンヌの心を癒してくれる。少しずつふたりは上手くいくようになるのだが……。

アンヌ役のライネ・マギは賢く、つつましく、質素な衣装ながら美しい。しかし、とまかくジャンヌ・モローに圧倒される。お腹のあたりは弛んでいる。顔には皺が目立つ。容姿は美しいとは言えない。故国を離れパリで生きてきた孤独を見せないように、誇り高く生きようとしている。様々なトラブルの後、心通うようになった女性ふたりとステファンはこの先どの様に暮らしを紡いでいくのだろうか。余韻が残るラストシーンである。

「県立かながわ女性センターを良くする有志の会」 の会のとりくみから



会員 小島 八重子

いま、神奈川臨調で多くの県立施設が危機にさらされています。先日、県立かながわ女性センター（藤沢市江の島）の移転先が県から示されました。藤沢合同庁舎の2階ワンフロアーに、①人材育成、②相談、③調査・研究、④情報発信・意識啓発の機能を持っていき、女性センター図書館は横浜市西区紅葉坂の県立図書館持っていくというものです。

移転先のスペースは、現行の1万㎡から800㎡にと、狭くなり、約10万冊の蔵書を収納できるスペースがないことと、専用で使用できる会議室もないことが明らかになりました。

これでは県民女性の自主的な交流・活動支援の拠点としての機能を果たすことはできないとの声広がっています。女性を大切にする県かどうか問われます。

また、女性に関する専門図書館（山川菊栄文庫コレクションなど）は、内外資料も含め多角的で系統的な蔵書内容など質量ともに全国的にも誇る図書館です。県立図書館はその収蔵能力も限界に達しています。貴重な資料が眠ってしまうのではないかと、危惧されます。

同時に、この移転については女性団体等への説明が行われたのが、この8月中旬であり、十分な検討の時間もないまま決められています。しかも、9

月議会に女性センター移転のための「再編整備工事設計費」予算案を提出。県民合意をえることなく、強引に進めようとしています。

県人権男女共同参画課長は、今回の移転・規模縮小について、「現在の女性センターでの事業を考えると、藤沢合同庁舎に移っても、県民サービスの低下になるとは考えていない。」と言い切りました。県民女性の反対にもかかわらず不便な江の島に女性センターを持っていき、強引に建設した女性センターが30年経って、機能を果たせていないことは、県が責任と努力を放棄した結果です。県民女性のおかれている厳しい実態（女性の貧困化、女性への暴力の問題の深刻化など）に目を向けない県の姿勢に、怒りを感じます。

WWFKは、神奈川県母親連絡会・新日本婦人の会神奈川県本部・神奈川労連女性センターなどと一緒に、「県立かながわ女性センターを良くする有志の会」を立ち上げました。

「有志の会」はかながわ女性センターの見直しに当たっては、県民・女性の意見を聞き、拙速な実施はおこなわないことと、かながわ男女共同参画推進プランを推進する県内の拠点施設（女性に関する専門図書館を含む）としての機能と役割が果たせるスペースが確保されるセンターを求め、県議会への陳情を出しました。

今後、新しい女性センターが県民・女性に役に立つ機能の充実に向けて、県内の女性団体と共に運動をすすめていきます。

県有施設見直しロードマップ(県資料から作成)

施設名	2013年度	2014年度	2015年度
かながわ女性センター	規模の縮小・移転に向け調整	→	2015年度以降移転 2015年度以降廃止

川崎の戦跡めぐり・登戸研究所

日時 2013年 10月26日(土) 集合 小田急線生田駅南口改 10時30分

【スケジュール】

- 10:30~小田急線生田駅南口(チラシ配布予定)⇒
- 11:00~明治大学登戸研究所資料館へ(見学含め1時間前後)⇒
- 12:30~ 明治大学学食(生田食堂館スクエア21)でランチ⇒
- 14:00頃(?)小田急線生田駅南口で解散



*会員以外の方にもお声掛けください。申し込みは、10月24日小島まで
電話 080-1148-7334 Eメール yaechan1@jcom.home.ne.jp